

【学校教育自己診断結果について】

平成28年度 学校教育自己診断 集計表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
保護者	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	子どもは、自分の学級が楽しいと言っている。	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	先生は子どもを理解している。	学校は、保護者の相談に適切に対応してくれる。	学校は、保護者の願いや期待に応えている。	学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行なっている。	学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている。	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	学校のホームページをよく見る。	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行なっている。
そう思う	31.2%	29.6%	4.4%	9.7%	11.1%	7.4%	12.4%	12.0%	11.1%	30.9%	10.6%	14.6%
大体そう思う	48.2%	44.4%	45.8%	53.7%	67.4%	62.2%	52.7%	62.8%	49.3%	37.5%	17.2%	61.7%
あまりそう思わない	17.0%	20.5%	41.6%	31.6%	20.5%	28.5%	31.4%	22.7%	36.7%	15.3%	38.2%	21.2%
そう思わない	3.5%	5.5%	8.2%	5.1%	1.0%	1.9%	3.4%	2.5%	2.9%	16.3%	34.0%	2.5%
肯定的回答の割合	79.4%	74.0%	50.2%	63.4%	78.5%	69.6%	65.2%	74.8%	60.4%	68.4%	27.8%	76.3%

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
保護者	学校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行なっている。	学校の生徒指導の方針は、保護者に示されている。	学校の生徒指導の方針に共感できる。	学校は、部活動や生徒会活動などに積極的に取り組んでいる。	文化祭や体育祭・修学旅行などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。	学校は、生徒の生命や人権を大切にすることを教育に取り組んでいる。	学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。	学校は、子どもにも生命を大切にすることを心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	学校では、教室や廊下等の清掃が行き届いている。	地震や台風などの場合の対応については、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	子どもはSNSを適切に使用しており、安心して学校生活を送っている。
そう思う	12.3%	11.3%	10.1%	16.6%	25.9%	13.2%	15.2%	12.9%	8.6%	19.3%	22.1%
大体そう思う	55.7%	54.1%	56.0%	58.5%	61.4%	61.1%	67.7%	63.3%	48.8%	50.0%	60.5%
あまりそう思わない	29.0%	30.5%	30.7%	21.2%	10.8%	24.6%	15.9%	22.0%	31.6%	26.2%	14.3%
そう思わない	2.9%	4.2%	3.2%	3.8%	1.9%	1.1%	1.3%	1.7%	10.9%	4.5%	3.1%
肯定的回答の割合	68.1%	65.3%	66.1%	75.1%	87.3%	74.4%	82.9%	76.3%	57.5%	69.3%	82.6%

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
生徒	学校に行くのが楽しい。	授業に満足している。	授業は分かりやすい。	授業で、自分の考えをまとめたり発表したりする機会がある。	教え方に工夫をしている先生が多い。	授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している。	学習の評価については納得できる。	ガイダンスや総合学習、進路HRはエリア選択や進路決定に役立った。
そう思う	31.7%	13.9%	10.2%	10.3%	13.0%	17.4%	9.6%	16.3%	17.9%
だいたいそう思う	43.1%	47.5%	48.6%	42.9%	44.4%	45.6%	35.7%	58.6%	45.1%
あまりそう思わない	17.7%	28.8%	33.5%	38.7%	35.5%	30.7%	39.9%	19.8%	28.5%
そう思わない	7.4%	9.8%	7.7%	8.2%	7.2%	6.4%	14.9%	5.3%	8.5%
肯定的回答の割合	74.9%	61.4%	58.8%	53.2%	57.4%	62.9%	45.2%	74.9%	63.0%

	10	11	12	13	14	15	16	17	18
生徒	自分の進路に必要な科目が選択できた。	進路指導について、学校は知りたい情報を適切に知らせてくれている。	将来の進路や生き方について考える機会がある。	学校生活についての先生への指導には納得できる。	学校行事に満足している。	部活動に満足している。	文化祭や体育祭は楽しく行なえるよう工夫されている。	健康や安全などの保健情報を適切に知らせてくれている。	悩みや相談に応じてくれる先生が多い。
そう思う	24.8%	13.8%	23.7%	14.1%	27.6%	28.3%	28.9%	15.9%	16.5%
だいたいそう思う	45.7%	51.4%	53.0%	46.9%	43.8%	34.1%	45.4%	52.7%	44.5%
あまりそう思わない	21.9%	29.7%	19.1%	29.3%	19.0%	15.8%	19.4%	26.7%	30.4%
そう思わない	7.6%	5.1%	4.2%	9.7%	9.7%	21.8%	6.2%	4.7%	8.6%
肯定的回答の割合	70.6%	65.2%	76.7%	61.0%	71.3%	62.4%	74.4%	68.6%	61.0%

	19	20	21	22	23	24	25	26
生徒	担任の先生以外にも、保健室や相談室などで、気軽に相談することができる先生がいる。	学校で、人権や命の大切さについて学ぶ機会が多い。	学校では、いじめやセクシャルハラスメントが起こりにくい。	先生はいじめなど私たちが困っていることに真剣に対応してくれる。	学校の施設や設備、学校で使う道具や器具がこわれたときは、すぐに修理したり、取り替えたりしてくれる。	教室や廊下等の清掃が行き届いている。	学校で地震や火災などの災害が起こった場合、どのような行動をとればよいかわかるように知らされている。	SNSを適切に使用しており、安心して学校生活を送っている。
そう思う	21.6%	16.3%	20.9%	16.9%	13.0%	9.4%	14.5%	27.5%
だいたいそう思う	42.7%	47.6%	51.9%	48.9%	48.2%	39.4%	48.0%	55.7%
あまりそう思わない	26.7%	30.3%	20.4%	26.5%	29.0%	36.7%	28.7%	12.5%
そう思わない	9.1%	5.8%	6.8%	7.7%	9.7%	14.5%	8.8%	4.4%
肯定的回答の割合	64.2%	63.9%	72.8%	65.8%	61.3%	48.8%	62.5%	83.2%

## 1 学校生活への満足度、全体的傾向

- (1) 学校生活への満足度について、生徒・保護者は概ね評価
- (2) 清掃等の環境整備についての評価が向上。老朽化した施設・設備の改修と併せ、学校全体での計画的な取り組みが必要

## 2 保護者との連携

- (1) 保護者の願いへの対応や家庭連絡についての評価が低下。特に家庭連絡について、教職員評価は比較的高いが、保護者の評価の差が大きい。
- (2) 学校のホームページによる保護者向けの情報発信や、生徒状況をしっかり把握したきめ細やかな保護者連絡が必要

## 3 学習指導

- (1) 授業のわかりやすさについての評価は生徒・保護者で一致せず。  
(生徒の評価は低下、保護者の評価は向上)
- (2) 教職員の補習についての評価が低下。一方、授業における話し合いの機会についての評価は向上
- (3) 生徒にとりわかりやすい授業、生徒が主体的に参加する授業に向け、話し合いの機会を活用し、検討する。
- (4) 発表の機会、ICT機器の活用についての評価が向上。今後、学校経営推進費による機器等も活用し、取り組みを充実する。

## 4 進路指導

- (1) 生徒・保護者への指導や情報提供についての評価が向上
- (2) 生徒が主体的に考え、行動するため、進路指導部・教務部・各学年等が連携し、3年間を見とおしたガイダンスや総合的な学習の時間の充実に取り組む。

## 5 生徒指導

- (1) 生徒指導についての生徒・保護者の評価が低下。また、教職員との認識に大きな隔たりがある。
- (2) 指導のあり方等について教職員で方針を共有し、学校全体で指導に当る必要がある。
- (3) 取り組みの一層の周知により、生徒の理解を高めるとともに、保護者との協力体制を構築する。

## 6 人権尊重の教育

- (1) 人権教育に係る取り組みの充実により、特に教職員の評価が向上
- (2) 人権教育について教員の共有を図るとともに、生徒の人権意識を高める取り組みを一層充実させる。
- (3) 特にSNSについての指導が大きな課題であり、生徒指導の観点からも指導を充実させる必要がある。
- (4) 悩みや相談に乗ってくれる先生への生徒評価は向上。個々の教員の対応だけでなく教育相談体制を整備する。

## 7 学校の方向性

- (1) 教育活動について教職員が話し合う機会や、有効な議論についての評価が大きく向上。研修も高評価
- (2) 教育課題に計画的に取り組むため、情報を共有し、効果的な話し合いと組織間の連携を進める。
- (3) 当初の目的について組織的に分析・評価した結果を学校全体で共有し、次年度に向けて改善を進める。